

## 世界資源株ファンドの直近の運用状況について

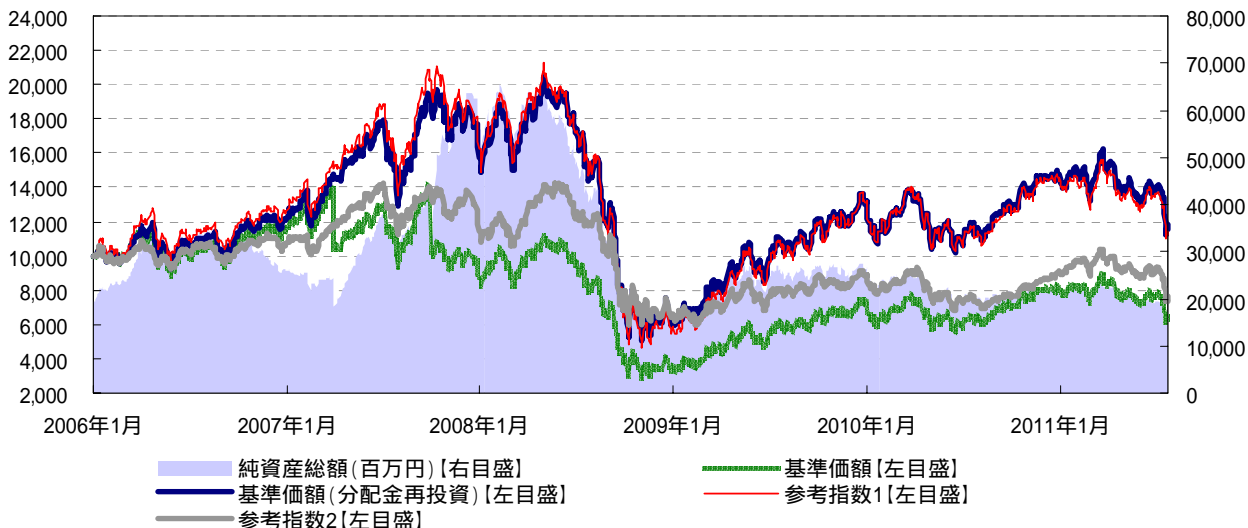
追加型投信/海外/株式

### 直近の運用状況について

世界資源株ファンドの基準価額は足元、大きく下落しました。以下に基準価額下落の背景となりました市況動向等、ならびに今後の見通しと運用方針につきご報告させていただきます。

#### 【基準価額の推移】

(期間: 2006年1月20日 ~ 2011年8月12日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)、参考指数は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.974%(税抜1.88%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

参考指数1はHSBCグローバル・マイニング・インデックス(円換算ベース)です。

参考指数2はMSCIワールドエナジーインデックス(円換算ベース)です。

HSBCグローバル・マイニング・インデックス(円換算ベース)は、総合金融グループであるHSBCが算出・公表している世界の鉱山関連株式で構成される株価指数であるHSBCグローバル・マイニング・インデックスをもとに、委託会社が計算したものです。HSBCグローバル・マイニング・インデックスに関する著作権その他の知的所有権はHSBCに帰属しており、その許諾なしにこのインデックスの全部または一部を複製・配付・使用等することは禁じられています。

MSCIワールドエナジーインデックス(円換算ベース)は、MSCI Inc.が開発した石油・天然ガス等エネルギー関連株式で構成される株価指数であるMSCIワールドエナジーインデックスをもとに委託会社が計算したものです。MSCIワールドエナジーインデックスに関する著作権その他の知的所有権はMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにこのインデックスの全部または一部を複製・配付・使用等することは禁じられています。

### ファンドの現況

(2011年8月12日現在)

	2011/8/12
基準価額	6,475円
純資産総額(百万円)	15,929

	基準価額	日付
設定来高値	14,074円	2007/10/15
設定来安値	2,791円	2008/11/21

### 騰落率

(2011年8月12日現在)

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-14.10%	-16.11%	-19.76%	5.61%	-19.17%	18.03%
参考指数1	-14.74%	-16.02%	-19.96%	4.01%	-23.72%	14.73%
参考指数2	-15.14%	-17.12%	-17.46%	5.49%	-35.24%	-23.09%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。  
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 世界資源株ファンドの直近の運用状況について

### ファンドマネージャーコメント

#### (基準価額下落の背景となった市況動向等)

資源関連株式市況は、2011年初より、中国をはじめとした新興国の金融引き締め政策に加え、中東・北アフリカ情勢の混迷や東日本大震災の影響が嫌気され、上値の重い展開が続いていました。またその後本格的に下落基調となった背景としては、米国の雇用情勢の悪化等グローバル経済の先行き不透明感が強まったことに加え、欧州圏の債務危機に対する懸念の拡大など、マクロ投資環境の悪化が主な要因として挙げられます。加えて、当ファンドでは、原油や工業用金属などの商品市況が下落し、エネルギーや資源などの関連銘柄を中心に売り圧力が強まったことも基準価額下落の要因となりました。

外国為替市場では、商品市況の調整や投資家によるリスク回避姿勢の強まりから、資源国通貨が対円で大きく下落し、こちらも基準価額を押し下げる要因となりました。

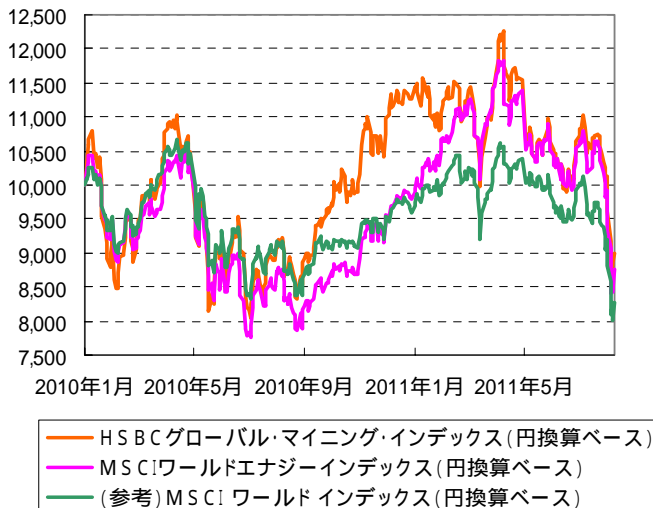
#### (今後の見通しおよび運用方針)

資源関連株式市況においては、米国の景気減速懸念や欧州の財政問題、米国債の格下げなどを背景に、不安定な状況が続くと考えます。ただ、新興国の経済成長に伴う旺盛な資源需要に基調的な変化は無く、資源関連株式市況の中長期的な投資環境は引き続き明るいと考えています。特に中国におけるインフラ投資促進や住宅需要の拡大などは継続していくとみており、鉄鉱石や石炭、銅などの需要が大きく調整することはないとみています。

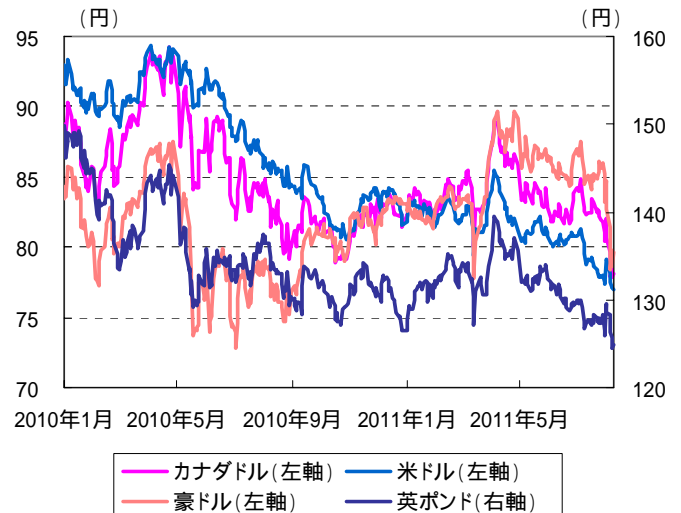
当ファンドは、当面は金セクターへの比重を高める方針です。また、ポートフォリオ構築にあたってはバリュエーション(投資価値基準)面での銘柄選別に注力しながら、財務基盤が堅固で資金創出能力が高い企業中心の運用を継続する方針です。

(期間:2010年1月4日~2011年8月12日)

当ファンドの参考指数の推移



為替(対円)の推移



・H S B C グローバル・マイニング・インデックス(円換算ベース)、M S C I ワールドエナジーインデックス(円換算ベース)、M S C I ワールドインデックス(円換算ベース)、は2010年1月4日を10,000として指数化しています。

・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。

また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。上記と異なる期間を対象とした場合は計算結果も異なる点にご注意ください。

M S C I ワールドインデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数です。M S C I ワールドインデックス(円換算ベース)は、M S C I ワールドインデックス(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、M S C I ワールドインデックスはMSCI Inc.の財産であり、「MSCI」はMSCI Inc.のサービスマークです。M S C I ワールドインデックスは当ファンドのベンチマーク、参考指数ではありません。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。

また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 世界資源株ファンド

### ファンドの目的・特色

#### ファンドの目的

世界各国(除く日本)の資源関連の株式等を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

#### ファンドの特色

- ・主として、世界各国(除く日本)の資源関連の株式等へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。
- ・運用は主に世界資源株マザーファンドへの投資を通じて、世界各国(除く日本)の資源関連の株式等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。
- ・実質的な組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。
- ・マザーファンドの運用にあたっては、世界資源関連株式運用に実績のある、コロニアル・ファーストステート・アセットマネジメント(オーストラリア)リミテッドが担当します。

#### <主な投資制限>

- ・株式への実質投資割合に制限を設けません。
- ・同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- ・外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定します。

### 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

#### 市場リスク

##### (価格変動リスク)

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

##### (為替変動リスク)

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

#### 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

#### 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

#### カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

**(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ投信株式会社

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用...三菱UFJ投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会 (社)投資信託協会

(社)日本証券投資顧問業協会



## 世界資源株ファンド

## 投資リスク

## その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

## リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

## 手続・手数料等

## お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 - 信託財産留保額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	シドニーの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2011年の該当日は1月26日、4月22日、4月25日、4月26日、6月13日、8月1日、10月3日、12月26日、12月27日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2015年10月19日まで(2006年1月20日設定)
繰上償還	受益権の口数が30億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎年4・10月の各19日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

世界資源株ファンド

手続・手数料等

ファンドの費用・税金  
・ファンドの費用

**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**

お客さまが直接的に負担する費用

購入時

購入時手数料	購入価額 × 3.15% (税抜 3%) (上限) / 販売会社にご確認ください。
--------	---

換金時

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 × 0.3%
---------	--------------------------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年1.974% (税抜 年1.88%)
------------------	-----------------------------

その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、外国での資産の保管等に要する費用、マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
----------------	--

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限りです。)には消費税等相当額が含まれます。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。/投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認ください。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。/当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

**(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

お客さま専用  
フリーダイヤル 0120-151034  
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・12月31日 ~ 1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>  
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
基準価額・分配金をメール配信(\*メール配信対象外ファンドもあります。)



販売会社情報一覧表

ファンド名称: 世界資源株ファンド

商号	登録番号等	加入協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会 / 社団法人日本証券投資顧問業協会 / 社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会